

2024年度 教員の自己点検・自己評価報告書

所属学部 学科	職位	氏名
経営学部 国際ビジネス学科	講師	竹越美奈子
最終学歴	学位	専門分野
東京都立大学大学院人文科学研究科	修士（文学）	中国語学

I 教育活動

○理念・目標・方針・計画（方法）

【理念】

学生によりそう

【目標】

個々の学生の個性にあった学びを提供する

【方針】

個々の学生の個性にあった学びを提供する

【計画（方法）】

演習科目では、ていねいな個人面談を実施する

○担当科目（前期・後期）

（前期）

中国語総合 I a,b

中国語オーラルコミュニケーション I a,b

基礎演習 I

総合演習 I

（後期）

中国語総合 II a,b

中国語オーラルコミュニケーション II a,b

基礎演習 II

総合演習 II

現代中国論

○教育方法の実践

中国語の授業では、全員の学生の名前を覚え、毎回の授業で一人一人の発音を聴いてていねいに指導した。

○作成した教科書・教材

「大学におけるレポートの書き方」（スライド）

「現代中国論：中国はなぜ理解しにくいのか」（スライド）

○自己評価

中国語の授業では学生にていねいな指導ができた。

演習では、個人面談の時間を多くとった。

現代中国論は、担当して3年目になるが、授業のテーマ（日本は中国をどう見てきたか、現代中国映画に見る恋愛と結婚）が明確になってきた。

II 研究活動

○研究課題

19 世紀粵語文法の総合的研究

○目標・計画

【目標】

19 世紀の粵語の文法について、これまでの自己の研究を総括する

【計画】

8 月漢語方言研究会、11 月日本中国語学会全国大会、12 月国際粵語学会

○2017 年 4 月から 2025 年 3 月の研究業績（特許等を含む）

（著書）

（学術論文）

- ・竹越美奈子(2018)「近代粵語遇攝の二重母音化と早期粵語資料」単著、『東邦学誌』第 47 巻第 2 号、pp.57-77.
- ・竹越美奈子(2017)「近代粵語遇效攝一等字の変遷」単著、『東邦学誌』第 46 巻第 2 号、pp.1-25.
- ・Minako Takekoshi(2017) Cantonese as Learned by Missionaries in the 19th Century: Language Variation in Easy Lessons in Chinese. Current Research in Chinese Linguistics. Vol.97.1: 273-284.

【査読あり】

（学会発表）

- ・竹越美奈子(2024)「早期粵語語法研究的当前課題：三十年的回顧」2024 年 3 月 28 日、第 21 回漢語方言研究会（京都外国語大学、Zoom とのハイブリッドで開催）
- ・竹越美奈子(2023)「粵語方言字の変遷」2023 年 3 月 29 日、第 19 回漢語方言研究会（Zoom ミーティング）
- ・竹越美奈子(2023)「粵語漢字和日語国字対比研究」2023 年 3 月 8 日、International Conference on Cantonese Writing from an Interdisciplinary Perspective（香港中文大学、ハイブリッド形式による国際会議、リモート参加）
- ・竹越美奈子(2021)「福屋正男 1923《日粵會話》簡介」2021 年 3 月 27 日、Workshop on Early Cantonese（Zoom ミーティング）
- ・竹越美奈子(2021)「福屋正男 1923『日粵會話』について」2021 年 3 月 26 日、第 15 回漢語方言研究会（Zoom ミーティング）
- ・竹越美奈子(2019)「歴史資料と言語地図」2019 年 8 月 27 日、第 13 回漢語方言研究会（近畿大学東京センター）
- ・竹越美奈子(2019)「十九世紀粵語英語借詞的高元音裂化」2019 年 5 月 11 日、第 27 回国際中国語学会(International association of Chinese Linguistics)（神戸市外国語大学）
- ・竹越美奈子(2019)「19 世紀粵語英語借詞の音韻変化」2019 年 3 月 26 日、第 12 回漢語方言研究会（近畿大学東京センター）
- ・竹越美奈子(2018)「近代粵語遇攝の二重母音化と早期粵語資料」2018 年 8 月 27 日、第 11 回漢語方言研究会（近畿大学東京センター）
- ・竹越美奈子(2018)「19 世紀粵語高母音の二重母音化と香港の地図」2018 年 3 月 18 日、第 10 回漢語方言研究会（神戸山手大学）
- ・Minako TAKEKOSHI(2017)「早期粵語遇攝一等字的裂化」2017 年 12 月 8 日、第 22 回国際粵方

言研究会（香港教育大学）【匿名審査あり】

（特許）

（その他）

○科学研究費補助金等への申請状況、交付状況（学内外）

なし

○所属学会

日本中国語学会

国際中国語学会（永久会員）

○自己評価

今年度は、新しい論考は発信せず、これまでの研究の総括・まとめを行った。

Ⅲ 大学運営

○目標・計画

【目標】

自分の任務を果たす

【計画】

入試問題作成委員会委員長として、大過なく入試を実施する

○学内委員等

入試問題作成委員長

○自己評価

入試問題作成委員会委員長として、大過なく入試を実施することができた。

Ⅳ 社会貢献

○目標・計画

【目標】

自己の専門性を社会に還元する

【計画】

大学の出張講義等に積極的に関わる

○学会活動等

なし

○地域連携・社会貢献等

なし

○自己評価

今年度は、新しい論考は発信せず、これまでの研究の総括・まとめ、資料整理を行った。

Ⅴ その他の特記事項（学外研究、受賞歴、国際学術交流、自己研鑽等）

19世紀粵語資料の英訳にとりかかる

VI 総括

本学で教育・研究職を得て 24 年目である。教育、研究ともにこれまでの反省をふまえつつ、総括していく年であった。

以 上